

平成25年度 事業報告書

社会福祉法人 千葉市社会福祉協議会

目次

概要	1
I 会議	
1 理事会	2
2 評議員会	3
II 実施事業	
1 情報のキャッチボール	
(1) 情報の発信	4
(2) 情報の収集	5
2 福祉教育の推進	
(1) ボランティア学習の推進	6
(2) 福祉教育の支援	7
3 小地域福祉活動の活性化	
(1) 地区部会活動の支援	9
(2) 地区部会活動推進のための基盤整備	12
(3) 各種団体・関係機関との連携・強化	13
4 ボランティア活動の促進	
(1) ボランティアの育成	14
(2) 相談、支援体制の強化・充実	15
(3) 災害時におけるボランティア体制の整備	18
5 権利擁護の充実	
(1) 成年後見支援センター機能の充実	19
6 在宅福祉サービスの充実・支援	
(1) 在宅福祉機器の貸与	21
(2) 心配ごと相談所の運営	22

7	子育て支援	
(1)	放課後児童健全育成	2 4
(2)	延長保育	2 5
(3)	交通遺児援護	2 5
(4)	心身障害児福祉の推進	2 5
8	生活安定のための支援	
(1)	生活福祉資金貸付	2 6
(2)	千葉県生活困窮者自立促進支援モデル事業	2 6
9	福祉施設や団体との連携・支援	
(1)	施設団体等助成	2 8
(2)	社会福祉事業振興資金貸付	2 8
(3)	各種団体・関係機関との連携・強化	2 9
10	人材育成のための研修の充実	
(1)	指定管理の研修・指定管理以外の研修	3 0
(2)	社会福祉士養成課程援助実習の実習生の受け入れ	3 1
11	広報活動の充実	
(1)	社協のPR活動	3 2
12	体制の充実・強化	
(1)	会員の拡大	3 3
(2)	自主財源の確保	3 3
(3)	組織体制の充実・強化	3 4
13	東日本大震災への対応	
(1)	ボランティアバスの運行による支援活動	3 5
(2)	義援金、寄附金の受付等	3 5
	関連資料【組織図】	3 6

概 要

本会区事務所に配置されているコミュニティソーシャルワーカーが地区部会を中心に町内自治会などの住民組織、民生委員・児童委員、ボランティア等の参加を得て、地域における要援護高齢者等を地域社会において支える活動の基盤を整備し、互助・共助（見守り）のしくみづくりに取り組みました。

1 コミュニティソーシャルワーカーによる活動支援体制づくりの推進

フォーマル及びインフォーマルな専門性知識を有する職員の数を増やし地区部会をはじめとする関係機関・団体等などに対し、地域ニーズに基づく地域特性に応じた福祉課題を含む日常生活課題の解決策などを企画・提案し、関係機関・団体等と協議・調整を行い、関係団体・機関の助けあい支えあいのネットワークづくりの推進に努めました。

2 小地域福祉活動の促進

小地域福祉活動をより活性化するため、地区部会等との懇談会を開催し地域の福祉課題の解決を図るとともに、見守り活動等の推進に努め、また、地区部会活動の担い手を対象とするスキルアップ研修の充実に努めました。

3 災害時におけるボランティア体制の整備

災害時におけるボランティア活動の対応に迅速に取り組むため、災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施するとともに、ボランティアの育成や確保などに取り組み、災害時における支援体制の整備に努めました。

4 成年後見制度の利用促進

判断能力が十分でない方々の成年後見制度の利用が進むよう、千葉市成年後見支援センターと制度の周知を図るとともに、各種相談にきめ細かく対応いたしました。また、利用者の増加が見込まれることから、継続的に市民後見人の養成を行い、研修を修了した者を法人後見支援員として確保し、法人後見業務の充実に努めました。

I 会 議

1 理 事 会

第 1 回 平成 25 年 5 月 23 日（木）

- 議案第1号 平成24年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会一般会計収支補正予算について
- 議案第2号 平成24年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事業報告について
- 議案第3号 平成24年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会一般会計及び特別会計収支決算について
- 議案第4号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会就業規程の一部改正について
- 議案第5号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会評議員の辞任に伴う後任者の選任について

以上、原案どおり可決しました。

- 報告第1号 第1次地域福祉活動実施計画（平成23年度～平成27年度）の進捗状況について

第 2 回 平成 25 年 6 月 24 日（月）

- 議案第6号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会職員の給与に関する規程の一部を改正する規程の一部改正について

以上、原案どおり可決しました。

第 3 回 平成 26 年 3 月 25 日（火）

- 議案第7号 平成25年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会一般会計収支補正予算について
- 議案第8号 平成26年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事業計画について
- 議案第9号 平成26年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会一般会計及び特別会計収支予算について
- 議案第10号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事務分掌規程の一部改正について
- 議案第11号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会決裁規程の一部改正について
- 議案第12号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会職員の給与に関する規程の一部改正について
- 議案第13号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会評議員の辞任に伴う後任者の選任について

以上、原案どおり可決しました。

報告第2号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会職員の給与に関する規程の臨時特例に関する規程の制定について

2 評議員会

第1回 平成25年5月23日(木)

議案第1号 平成24年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会一般会計収支補正予算について

議案第2号 平成24年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事業報告について

議案第3号 平成24年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会一般会計及び特別会計収支決算について

以上、原案どおり可決しました。

報告第1号 第1次地域福祉活動実施計画(平成23年度～平成27年度)の進捗状況について

第2回 平成26年3月25日(火)

議案第4号 平成25年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会一般会計収支補正予算について

議案第5号 平成26年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事業計画について

議案第6号 平成26年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会一般会計及び特別会計収支予算について

議案第7号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会理事の辞任に伴う後任者の選任について

議案第8号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会会長及び副会長の選任について

議案第9号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会監事の辞任に伴う後任者の選任について

以上、原案どおり可決しました。

II 実施事業

1 情報のキャッチボール

本会が中心となって実施する地域福祉活動を広く理解してもらうため、様々な媒体を活用し情報を発信しました。

市民の意見を反映した地域福祉活動を推進するために、電子メールによる意見の収集やイベント等における参加者へのアンケートを実施しました。

地区部会等との懇談会を通して、地域におけるニーズを把握しました。

(1) 情報の発信

① 社協だよりの発行

社協活動の広報紙として、社協だよりを年4回、各3万2千部発行し、各町内自治会での回覧や公共施設などに配架し、多くの市民へ情報を提供しました。

平成25年度			平成24年度		
巻数	発行日	発行部数	巻数	発行日	発行部数
第82号	平成25年 6月19日	各32,000部	第78号	平成24年 6月20日	各32,000部
第83号	平成25年 9月18日		第79号	平成24年 9月19日	
第84号	平成25年12月 4日		第80号	平成24年12月 5日	
第85号	平成26年 3月19日		第81号	平成25年 3月20日	

② ホームページの充実

ホームページで、本会や地区部会、各種ボランティア団体等の活動状況を掲載するとともに、地域で必要とする福祉情報を発信しました。

＜アクセス数＞

	平成25年度	平成24年度
本会トップページ	15,203件	17,403件
ボランティアセンターホームページ	14,678件	15,942件
成年後見支援センターホームページ	3,745件	8,256件
社会福祉研修センターホームページ	4,309件	4,163件

③ 災害等緊急時の情報提供

ボランティアセンターのホームページに、東日本大震災の被災地や台風26号（東京都大島町）などに係る災害ボランティアセンターの情報を掲載し、市民に対して被災地のボランティア募集等の情報を発信しました。

④ 啓発ポスターなどの作成

市民に福祉への関心をもってもらうために、「福祉のまちづくり推進福祉体験標語・ポスター・作文コンクール」の受賞作品を啓発ポスターや啓発物品の図柄として採用し、区民まつりなどでの啓発活動に活用しました。

	平成25年度	平成24年度
ポスター	400枚	400枚
ポケットティッシュ	40,000個	40,000個

(2) 情報の収集

① メールやアンケートによる意見収集

市民の声を広く集め、地域福祉活動に反映させるため、メールによる意見の受付や、各種講座やイベント等において受講者及び参加者に対しアンケートを行いました。

② 地区部会等との懇談会の開催

地域の福祉課題を整理・把握し、地域の潜在的な予防的機能や支援的機能の掘り起こしに努めました。また、課題解決に向けた取組みを企画提案し、地域福祉活動の活性化を図るために、地区部会等との懇談会を開催しました。

	平成 25 年度	平成 24 年度
開催数	257 回	196 回

2 福祉教育の推進

将来の地域福祉の担い手を育成するため、教育委員会等と連携し、学校における福祉教育が継続的、計画的に実施されるよう支援しました。

また、市民の福祉意識や自分の住む地域への関心を高め、主体的な福祉活動への参加につなげるため、地域や施設団体等と連携し、児童や生徒のみならず幅広い世代を対象に、実践や体験を通じた福祉教育の展開に取り組みました。

(1) ボランティア学習の推進

① ボランティア活動推進協力校等指定事業

千葉市教育委員会の協力を得て、市内の小学校からボランティア活動推進協力校等を指定し、学校が主体となって行うボランティア学習の取組みを支援しました。

ボランティア活動推進協力校(15校) <3年間>	平成25年度指定	園生小、更科小、宮崎小、瑞穂小、真砂東小
	平成24年度指定	寒川小、都賀小、こてはし台小、北貝塚小、高洲第四小
	平成23年度指定	新宿小、稲毛小、花園小、千城台北小、幕張西小
ボランティア活動推進準協力校(9校) <2年間>	平成25年度指定	本町小、若松小、幸町第二小、さつきが丘西小、金沢小
	平成24年度指定	畑小、白井小、高浜海浜小、小谷小

② 福祉教育研究大会の開催

千葉市教育委員会の協力を得て、高浜中学校を平成25年度の福祉教育研究大会開催協力校として指定し、学校が主体となって行う福祉教育プログラムの開発の取組みを支援しました。

また、近隣の小・中学校の教員や児童・生徒のほか地域住民にも参加を呼びかけ、同校の取組みの発表や参加者のボランティア体験学習の場として、平成25年11月20日に同校を会場として福祉教育研究大会を開催しました。

③ 高校生介護等体験特別事業

平成23年度から平成25年度まで3年間の介護等体験協力校として指定したYMC A学院高等学校千葉センターが、小学校の介護講座(車椅子体験)にボランティアとして参加するための支援を行いました。

④ 福祉のまちづくり推進福祉体験標語・ポスター・作文コンクール

市内の小・中学校の児童・生徒を対象に、福祉やボランティアをテーマにした作品コンクールを開催し、学校における福祉教育の取組みを支援しました。

コンクールには市内小学校 16 校・中学校 15 校からの応募がありました。

<応募点数>

	平成 25 年度	平成 24 年度
標語	880 点	625 点
ポスター	164 点	82 点
作文	360 点	228 点
合計	1,404 点	935 点

(2) 福祉教育の支援

① 福祉教育情報の提供

市内の小・中学校の全教員を対象に、効果的な福祉教育に資するための「福祉教育ニュース」を発行しました。

市内の小学 4 年生から中学 3 年生を対象に福祉のこころを育むための「わたしもぼくもボランティア」を発行しました。

このほか、ボランティア活動推進協力校の取組みをまとめた事例集を作成し、市内の小・中学校に配布しました。

ア 福祉教育ニュース

平成25年度			平成24年度		
巻数	発行月	発行部数	巻数	発行月	発行部数
第44号	平成25年7月	各6,000部	第42号	平成25年2月	各6,000部
第45号	平成26年2月		第43号	平成25年3月	

イ わたしもぼくもボランティア

平成25年度		平成24年度	
発行月	発行部数	発行月	発行部数
平成26年3月	52,500部	平成25年3月	55,000部

② 教員向け福祉教育講座の開催

市内の小・中・特別支援学校教員を対象に、学校で福祉教育を進めるうえで必要な福祉教育の目的・視点について整理し、ボランティア学習プログラム作成に資することを目的として、福祉教育講座を開催しました。

	平成 25 年度	平成 24 年度
受講者数	30 人 (定員：40 人)	22 人

③ 福祉体験用具貸出

市内の小・中・高等学校が行う福祉教育を支援するため、福祉体験用具の貸出しを行いました。より多くの学校への貸出しができるようPRチラシを学校に配布し、福祉教育ニュースに案内を掲載しました。

	平成 25 年度	平成 24 年度
貸出校数	288 校	231 校
貸出用具数	3,423 個	2,588 個

④ 講師派遣

市内の小・中・高等学校に障害のある方を講師として派遣し、学校による福祉教育のための講演会の支援を行いました。より多くの学校への派遣ができるようPRチラシを学校に配布し、福祉教育ニュースに案内を掲載しました。

	平成 25 年度	平成 24 年度
実施回数	17 回	14 回

⑤ 出張ボランティア・福祉体験講座の開催

市内の小・中・高等学校などからの依頼により職員を派遣し、ボランティアに関する講演や高齢者疑似体験、車椅子の体験指導を行いました。より多くの学校への派遣ができるようPRチラシを学校に配布し、福祉教育ニュースに案内を掲載しました。

	平成 25 年度	平成 24 年度
派遣回数	8 回	10 回

⑥ 地域でのボランティア体験の場・活動機会の提供

地区部会に小・中学校の児童・生徒の「ボランティア受入協力地区」としての協力を得て、地域における福祉教育への協力体制の構築を図るため、小・中学校を訪問し、地区部会との連携の働きかけを行いました。

3 小地域福祉活動の活性化

小地域福祉活動を推進する上で中心的な役割を担う地区部会が、地域の住民同士のふれあいや福祉活動の広報啓発など、小地域における福祉の推進を目的とする各種事業を行うにあたって、より良い事業展開のための提案や継続的に実施できるよう助成するなど、地区部会活動を支援するとともに、担い手の確保・育成、福祉活動推進員等の知識や技術の向上を目的とした研修に取り組みました。

また、地区部会活動を継続的に推進するために、地区部会の活動拠点の確保に向けた働きかけや地域福祉活動に取り組む各種団体・関係機関と地域における福祉課題を共有し、課題解決に向けた取組みを効果的に進めていくために連携・協働に努めました。

(1) 地区部会活動の支援

① ふれあい食事サービス事業の推進

65歳以上の独居高齢者を対象に心身の健康保持と社会参加を目的とし、定期実施型・行事实施型・施設利用型の3形態で行われる会食会や配食を実施する地区部会を支援しました。

		中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計
定期実施型	平成25年度	1,263食 (2地区)	459食 (1地区)	2,343食 (6地区)	188食 (1地区)	1,440食 (3地区)	3,888食 (5地区)	9,581食 (18地区)
	平成24年度	1,505食 (2地区)	457食 (1地区)	2,659食 (6地区)	191食 (1地区)	1,578食 (3地区)	3,891食 (5地区)	10,281食 (18地区)
行事实施型	平成25年度	569食 (5地区)	1,210食 (9地区)	120食 (2地区)	244食 (3地区)	—	204食 (2地区)	2,347食 (21地区)
	平成24年度	556食 (5地区)	1,017食 (8地区)	117食 (2地区)	220食 (3地区)	—	199食 (2地区)	2,109食 (20地区)
施設利用型	平成25年度	—	1,122食 (3地区)	—	475食 (1地区)	—	—	1,597食 (4地区)
	平成24年度	—	1,392食 (3地区)	—	446食 (1地区)	—	—	1,838食 (4地区)
合計	平成25年度	1,832食	2,791食	2,463食	907食	1,440食	4,092食	13,525食
	平成24年度	2,061食	2,866食	2,776食	857食	1,578食	4,090食	14,228食

② ふれあい・いきいきサロンの推進

高齢者同士の語らいの場を設け、閉じこもりの防止や寝たきり・認知症の予防を目的としたサロンを実施する地区部会を支援しました。5 地区部会が新規に事業を行いました。

	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計
平成 25 年度	279 回 (13 地区)	966 回 (13 地区)	565 回 (10 地区)	241 回 (10 地区)	344 回 (4 地区)	372 回 (8 地区)	2,767 回 (58 地区)
平成 24 年度	279 回 (12 地区)	809 回 (13 地区)	532 回 (9 地区)	168 回 (8 地区)	307 回 (4 地区)	346 回 (7 地区)	2,441 回 (53 地区)

③ ふれあい・子育てサロンの推進

子育て中の親子が自由に集い、地域ボランティアとともに交流を通して、仲間づくりを目的としたサロンを実施する地区部会を支援しました。1 地区部会が都合により実施できませんでした。

	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計
平成 25 年度	212 回 (15 地区)	135 回 (9 地区)	134 回 (9 地区)	87 回 (7 地区)	45 回 (3 地区)	71 回 (6 地区)	684 回 (49 地区)
平成 24 年度	202 回 (15 地区)	128 回 (9 地区)	123 回 (10 地区)	59 回 (7 地区)	33 回 (3 地区)	68 回 (6 地区)	613 回 (50 地区)

④ ふれあい・散歩クラブの推進

高齢者の散歩を通して、閉じこもりの防止や健康保持を目的とした活動を実施する地区部会を支援しました。5 地区部会が新規に事業を行いました。

	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計
平成 25 年度	82 回 (7 地区)	182 回 (7 地区)	147 回 (7 地区)	33 回 (4 地区)	50 回 (2 地区)	81 回 (3 地区)	575 回 (30 地区)
平成 24 年度	70 回 (6 地区)	185 回 (7 地区)	139 回 (5 地区)	37 回 (3 地区)	48 回 (1 地区)	81 回 (3 地区)	560 回 (25 地区)

⑤ 広報啓発活動の推進

地域住民に対して地区部会活動への理解と担い手を確保・育成していくことを目的とした広報紙（地区部会だより）の発行やボランティア講座を実施する地区部会を支援しました。

ア 広報紙

	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計
平成 25 年度	38 回 (15 地区)	29 回 (13 地区)	21 回 (11 地区)	32 回 (13 地区)	10 回 (4 地区)	23 回 (8 地区)	153 回 (64 地区)
平成 24 年度	40 回 (16 地区)	29 回 (12 地区)	20 回 (10 地区)	25 回 (12 地区)	10 回 (4 地区)	23 回 (8 地区)	147 回 (62 地区)

イ ボランティア講座

	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計
平成 25 年度	16 回 (8 地区)	10 回 (4 地区)	13 回 (9 地区)	21 回 (7 地区)	5 回 (2 地区)	13 回 (7 地区)	78 回 (37 地区)
平成 24 年度	17 回 (7 地区)	9 回 (5 地区)	13 回 (7 地区)	15 回 (7 地区)	5 回 (2 地区)	12 回 (6 地区)	71 回 (34 地区)

⑥ 見守り活動の推進

ひとり暮らし高齢者等に対して、日常的な見守りや声かけによる安否確認等により、安心して地域で暮らせるよう見守り活動の仕組みづくりを支援するとともに、活動を実施する地区部会（町内自治会）に助成しました。

	平成 25 年度
地区部会数 (町内自治会数)	18 地区部会 (184 町内自治会)

⑦ 地区部会等との懇談会の開催<再掲>

地域の福祉課題を整理・把握し、地域の潜在的な予防的機能や支援的機能を掘り起こしに努めました。また、課題解決に向けた取組みを企画提案し、地域福祉活動の活性化を図るために、地区部会等との懇談会を開催しました。

	平成 25 年度	平成 24 年度
開催数	257 回	196 回

⑧ 福祉活動推進員研修会の実施

地区部会活動の中心的な役割を担う福祉活動推進員を対象に、地域の福祉課題の発見・把握、課題解決につなげるための知識や情報等を習得してもらうために研修会を 4 回開催しました。

回数	開催日/会場	参加者数	研修内容	講師
第 1 回	平成25年5月29日（水）	90 人	「活動の中でのコミュニケーション聞くこと・はなすこと」	NPO法人スピリッツ 代表 北田 知子 氏
	千葉市ハーモニープラザ			
第 2 回	平成25年7月30日（火）	83 人	「見守り活動について」	千葉市社会福祉協議会職員及び行政担当課職員
	千葉市ハーモニープラザ			
第 3 回	平成25年10月18日（金）	69 人	レッツエンジョイレクタイム ～サロンに花を咲かせましょう～	本会職員
	千葉市ハーモニープラザ			
第 4 回	平成26年2月28日（金）	80 人	「地域での子育て支援について」基調講演と事例発表	心理発達相談室よこはた 横畑 泰希 氏 及び地区部会関係者
	千葉市ハーモニープラザ			

⑨ ふれあい食事サービス事業研修会の実施

ふれあい食事サービス事業に従事する方を対象に、衛生講習と調理実習を年1回ずつ開催しました。

回数	開催日/会場	参加者数	研修内容	講師
第1回	平成25年6月6日(木)	52人	・食中毒予防について	千葉県食品安全課職員
	千葉県ハーモニープラザ			
第2回	平成25年11月27日(水) ～29日(金)	61人	・調理実習(高齢者向け弁当) ・高齢者向け献立紹介	千葉県栄養士千葉支部参与 伊藤 芙美子氏
	千葉県ハーモニープラザ			

⑩ 地区部会役員・実務者研修会の実施

地区部会が継続的に地域の福祉課題に取り組めるよう、地区部会役員等を対象に、地域福祉活動に関する知識や実務に関する研修会を2回開催しました。

回数	開催日/会場	参加者数	研修内容	講師
第1回	平成25年8月22日(木)	58人	これからの地域福祉における地区部会と社協の役割について	淑徳大学 准教授 小倉 常明氏
	千葉県ハーモニープラザ			
第2回	平成26年3月27日(木)	29人	「広報紙作成に係るポイントについて」	特定非営利活動法人 さいたまNPOセンター 東 一邦氏
	千葉県ハーモニープラザ			

(2) 地区部会活動推進のための基盤整備

① 地域組織化活動

既存の地区部会がより小地域での地区部会活動を充実させることを目的として協議を重ね、新たに1地区部会が設立されました。

<地区部会数>

区名	地区部会数
中央区	16地区部会
花見川区	13地区部会
稲毛区	12地区部会
若葉区	14地区部会
緑区	4地区部会
美浜区	8地区部会
合計	67地区部会

② 地区部会活動拠点確保の支援

地域の社会資源を把握するとともに、行政等へ地域福祉への理解を求め、活動拠点確保に向けた働きかけを行いました。

③ 地域福祉活動推進のあり方について調査研究

地域福祉活動を推進していく上で、地域住民が地域の福祉課題を共有化し、効率的かつ効果的に課題解決に向けた取組みができる仕組みのあり方を調査しました。

(3) 各種団体・関係機関との連携・強化

① 各種団体・関係機関との連携・協働

各区事務所において、あんしんケアセンター等と地域福祉の推進について連携・協働するとともに、区地域福祉計画推進協議会と協力し、区地域福祉計画の推進に努めました。また、フードバンク活動を行っている団体と連携し、生活困窮者への支援を実施しました。

<食品配送申請件数>

	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計
平成 25 年度	62 件	66 件	24 件	38 件	7 件	22 件	219 件
平成 24 年度	44 件	13 件	5 件	17 件	1 件	2 件	82 件

4 ボランティア活動の促進

多様なボランティアニーズに対応するためには、多くのボランティアを確保する必要があることから、ボランティア活動に興味・関心がある方へのきっかけづくりに取り組みました。

また、多様なボランティアに関する相談や支援のため、ボランティアの紹介・調整や各種講座の開催等に積極的に取り組み、相談・支援体制の強化・充実を図りました。

大規模災害時におけるボランティア活動への対応に早急に取り組む必要があることから、災害ボランティアの確保・育成や調整機能の強化、あるいは平常時から関係団体とのネットワークづくりに取り組み、災害時における支援体制の整備を図りました。

(1) ボランティアの育成

① ボランティア活動のきっかけづくり

千葉市（環境局）と協力して、区役所など市内 16 か所にエコキャップ回収箱を設置し、市民の自主的なエコキャップの収集・リサイクル活動の促進を図り、ボランティア活動への参加のきっかけづくりを支援しました。

	平成 25 年度	平成 24 年度
収集重量	31,320 kg	29,940 kg
キャップ数	13,467,600 個	12,537,000 個
ポリオワクチン	15,660 人分	14,970 人分

② ボランティア活動啓発講座の開催

ボランティア活動に興味・関心のある市民を対象に、基礎的な講座「ちょこっとボランティアセミナー」を、各区ボランティアセンターにおいて毎月開催しました。

	平成 25 年度	平成 24 年度
開催日数	30 日	26 日
受講者数	68 人 (定員：1,440 人)	48 人

③ ボランティア入門講座の開催

ボランティア活動を始めるきっかけづくりとして、世代別に体験を含めた入門講座を開催しました。

ア 将来の地域福祉活動の担い手として期待される小学生、中学生、高校・大学生を対象とした講座を開催しました。

	平成 25 年度		平成 24 年度	
	開催日数	受講者数	開催日数	受講者数
小学生ボランティア講座	3 日	12 人 (定員：20 人)	3 日	14 人
中学生ボランティア講座	1 日	16 人 (定員：20 人)	1 日	20 人
高校・大学生ボランティア講座	3 日	6 人 (定員：20 人)	1 日	13 人

イ 地域福祉活動の担い手として期待される団塊世代を対象とした「団塊世代向けボランティア講座」を開催しました。

	平成 25 年度	平成 24 年度
開催日数	4 日	4 日
受講者数	20 人 (定員：20 人)	20 人

ウ シニア世代を対象とした「傾聴ボランティア講座」を開催しました。

	平成 25 年度	平成 24 年度
開催日数	25 日	17 日
受講者数	171 人 (定員：180 人)	150 人

エ ボランティア活動を始めたい市民を対象とした「ボランティア入門講座」を開催しました。

	平成 25 年度	平成 24 年度
開催日数	23 日	24 日
受講者数	36 人 (定員：120 人)	63 人

④ ボランティア養成講座の開催

入門講座修了者やボランティア活動実践者を対象に、各区のニーズに応じた高齢者福祉、児童福祉等の分野別の講座を開催しました。

	平成 25 年度	平成 24 年度
開催日数	16 日	18 日
受講者数	112 人 (定員：120 人)	104 人

(2) 相談、支援体制の強化・充実

① ボランティア相談の受付

ボランティア活動をしたい市民や活動を実践している方が必要とする情報をパンフレット（ボランティア活動の手引き）、リーフレット（応援しますボランティア）、ホームページ等を用いて提供し、ボランティア活動の促進を図りました。

② ボランティアの紹介

ボランティアを必要とする市民の相談に応じ、ボランティアの調整・紹介を行いました。

ボランティアを必要とする人とボランティアをしたい人を結びつけるための広報紙（ボランティアセンターのお知らせ）を年 9 回、各 1,500 部発行し、登録ボランティアに配布しました。

ア ボランティア登録状況

		平成 25 年度末	平成 24 年度末
総登録者数		9,511 人	9,557 人
内訳	個人	4,398 人	4,412 人
	グループ	5,113 人 (168 グループ)	5,145 人 (159 グループ)

イ ボランティア依頼件数と対応件数

依頼者		平成25年度		平成24年度		主な依頼内容	
		依頼件数	対応件数	依頼件数	対応件数		
単発的なニーズ	個人ニーズ	①障害児	1件	1件	7件	7件	外出支援、プールの付き添い
		②障害者	8件	7件	21件	21件	外出支援、家事援助、代筆
		③高齢者	5件	5件	6件	4件	家事援助、雪かき
		④児童	2件	1件	0件	0件	託児
		⑤その他	10件	10件	3件	3件	託児、ゴミ出し
	小計		26件	24件	37件	35件	
	団体ニーズ	①障害児施設・団体	13件	13件	12件	12件	イベント支援、託児
		②障害者施設・団体	14件	14件	33件	29件	イベント支援、外出支援、演奏活動
		③高齢者施設・団体	38件	36件	27件	25件	イベント支援、演奏活動
		④児童施設・団体	5件	4件	22件	21件	保育
		⑤その他	45件	44件	44件	44件	行政が主催する事業の際の保育など
小計		115件	111件	138件	131件		
単発計		141件	135件	175件	166件		
定期的なニーズ	個人ニーズ	①障害児	10件	10件	5件	4件	外出支援、遊び相手、学校での見守り
		②障害者	22件	22件	22件	20件	外出支援、買い物同行
		③高齢者	28件	27件	33件	30件	話し相手、余暇支援、外出支援
		④児童	1件	1件	2件	2件	託児
		⑤その他	3件	3件	2件	2件	家事支援
	小計		64件	63件	64件	58件	
	団体ニーズ	①障害児施設・団体	39件	39件	33件	33件	学習・余暇活動の支援、作業補助
		②障害者施設・団体	108件	108件	151件	150件	作業補助、余暇活動支援、外出支援
		③高齢者施設・団体	218件	218件	307件	304件	話し相手、余暇活動支援
		④児童施設・団体	6件	6件	9件	8件	遊び相手、託児
		⑤その他	1件	1件	16件	13件	病院での案内
小計		372件	372件	516件	508件		
定期計		436件	435件	580件	566件		
合計		577件	570件	755件	732件		
		対応率99%		対応率97%			

③ 社会福祉施設等のボランティア担当者のための支援

ボランティアと受け入れ施設側の双方がより良い関係を築けるよう支援するため、社会福祉施設のボランティア担当者を対象に、ボランティアを受入れる基礎知識や活動プログラム作成等の研修を実施しました。

	平成 25 年度	平成 24 年度
開催日数	2 日	1 日
受講者数	20 人 (定員：各 20 人)	29 人

④ 企業の社会貢献活動への相談・支援

企業からの社会貢献の相談に応じ、情報の提供を行いました。

⑤ ボランティア基金事業

ボランティア基金より、ボランティアグループへの助成を行いました。また、ボランティア活動を促進するための資金確保として、使用済み切手等を収集し、ボランティアの協力のもと仕分け作業を行い、売却収入をボランティア基金に積み立てました。

ア ボランティアグループへの助成

	平成 25 年度	平成 24 年度
グループ数	86 グループ	76 グループ
事業数	105 事業	95 事業
助成金額	1,699,000 円	1,484,380 円

イ 使用済み切手等の収集量及び売却金額

	平成 25 年度		平成 24 年度	
	収集量	売却金額	収集量	売却金額
使用済み切手	32.0 kg	16,010 円	82.3 kg	41,125 円
使用済みプリペイドカード	31,900 枚	1,595 円	148,290 枚	14,829 円
使用済みインクカートリッジ	3.4 kg	893 円	5.7 kg	1,418 円
合 計		18,498 円		57,372 円

⑥ ボランティアデータベースの構築

市民がボランティア情報を取得しやすい体制をつくるため、千葉市が運用している千葉市ボランティアセンター・ちば生涯学習ボランティアセンター・千葉市国際交流プラザ・ちば市民活力創造プラザの保有する登録情報を一元化したデータベースの情報更新に協力し、市民がいつでも千葉市のホームページから最新のボランティア情報を取得できるように努めました。

(3) 災害時におけるボランティア体制の整備

① 災害ボランティア講座の開催

災害現場で活動するボランティアを育成するため「災害ボランティア講座」を開催しました。

	平成 25 年度	平成 24 年度
開催日数	1 日	1 日
受講者数	30 人 (定員：30 人)	40 人

② 災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施

災害時に備え、職員による災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施しました。関係機関や企業と連携した実施には至りませんでした。今後、段階的に他機関と連携した訓練を実施していきます。

	平成 25 年度	平成 24 年度
実施日	平成 26 年 2 月 23 日 (日)	平成 25 年 3 月 2 日 (土)

③ 災害時におけるボランティア支援計画の策定

災害時のボランティア支援を迅速に行うため、支援計画を策定しました。

5 権利擁護の充実

成年後見制度や日常生活自立支援事業の普及・啓発を図り、支援を必要とする市民の利用に結びつくよう理解の促進に努めるとともに、きめ細やかなサービスを迅速に提供できるよう体制整備に取り組みました。

また今後、制度の利用者が増えることが見込まれるため、市民後見人の養成に取り組みました。

(1) 成年後見支援センター機能の充実

① 成年後見制度等の周知

成年後見制度や日常生活自立支援事業の普及・啓発を図るため、市民向けの講習会を開催したほか、市民の依頼に応じて出前講座 17 件を行いました。また、市内の町内自治会へチラシの回覧を依頼しました。

<講習会等の実施>

開催日時	開催場所	参加者数	講習内容
平成25年12月15日（日） 午後1時30分～午後3時30分	千葉市社会福祉研修センター	10人	成年後見制度について
平成26年3月1日（土） 午後1時20分～午後4時05分	千葉市生涯学習センター2階ホール	258人	平成25年度成年後見制度研修会

② 成年後見制度に関する相談・対応

成年後見制度の利用や家庭裁判所への申立て手続きに関する相談などに対応しました。また、弁護士による法律相談も実施しました。

<相談件数>

	平成25年度	平成24年度
一般相談	719件	716件
法律相談	14件	16件
合計	733件	732件

③ 日常生活自立支援事業

財産管理や福祉サービスの利用手続きが独力では難しい人に対して、日常生活自立支援事業の利用に関する初期相談、契約、実際の支援活動を実施しました。

ア 実契約者の利用件数

	事項	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	不明・その他	合計
平成25年度	初回相談件数	56件	4件	11件	9件	80件
	相談件数	2,031件	112件	816件	569件	3,528件
	合計	2,087件	116件	827件	578件	3,608件
平成24年度	初回相談件数	50件	2件	20件	8件	80件
	相談件数	2,253件	47件	504件	642件	3,446件
	合計	2,303件	49件	524件	650件	3,526件

イ 契約締結人数（実利用人数）

	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	不明・ その他	合計
平成 25 年度	50 人	4 人	13 人	14 人	81 人
平成 24 年度	53 人	2 人	9 人	15 人	79 人

ウ 実契約者の利用内容

	内 容	平成 25 年度	平成 24 年度
財産管理サービス	預貯金の引き出しや公共料金の支払	延べ 1,071 件	延べ 1,125 件
福祉サービス利用援助	福祉サービス利用手続き等の援助	延べ 75 件	延べ 97 件
財産保全サービス	通帳、不動産権利証、実印等の財産を銀行の貸金庫に保管	延べ 4 件	延べ 4 件

④ 権利擁護事業の支援体制強化

職員の資質の向上などにより、各区事務所の初期相談機能や成年後見支援センターの専門性を高め、権利擁護事業に関する支援体制を強化しました。

⑤ 関係機関との連携強化

あんしんケアセンターとのケース検討会などを通して、関係機関との情報交換を行い、連携の強化を図りました。

⑥ 市民後見人の養成

市民後見人を養成するための研修会を開催しました。また、養成研修修了後も市民後見人としての知識を得られるよう、継続的な研修の一環として、フォローアップ研修会を開催しました。また、前年度からの市民後見人登録更新者 28 名と 25 年度に全課程を修了した 27 人の計 55 人が、本会における市民後見人の登録をしました。

	平成 25 年度		平成 24 年度	
	開催日数	受講者数	開催日数	受講者数
市民後見人養成研修（基礎編）	7 日	17 人	7 日	45 人
市民後見人養成研修（応用編）	2 日	38 人	2 日	27 人
市民後見人養成研修（実務編）	35 日	35 人	39 日	59 人
市民後見人フォローアップ研修	2 日	88 人	2 日	96 人

⑦ 法人後見の実施

判断能力が十分でない高齢者や障害者等に対して、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等を中心とした支援をすることにより、その者の権利を擁護することを目的として法人後見業務を実施しました。

また、業務にあつては本会に登録した 55 人の市民後見人のうち、14 人を法人後見支援員として雇用し、対応しました。

事 項	対象者	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	その他	合計
	受任 状況	平成 25 年度	10 件 (4)	5 件	3 件 (1)	0 件
	平成 24 年度	10 件 (2)	4 件	2 件	0 件	16 件 (2)

※（ ）内の数字は、法人後見業務が終了した件数

6 在宅福祉サービスの充実・支援

福祉機器を短期的に必要とする方に無償で貸し出し、利用者や介助者の経済的負担を軽減するとともに、生活上のさまざまな相談に対し相談員による助言を行うことにより、市民が在宅で安心して生活できるよう支援しました。

(1) 在宅福祉機器の貸与

① 車椅子貸与事業

短期間車椅子が必要な方へ2か月(最長6か月)を限度として、無償で貸し出し、利用者や介助者の経済的負担を軽減しました。

	平成 25 年度		平成 24 年度	
	保有台数	貸出件数	保有台数	貸出件数
中 央 区	14 台	70 件	24 台	79 件
花 見 川 区	21 台	67 件	21 台	70 件
稲 毛 区	37 台	78 件	32 台	66 件
若 葉 区	33 台	89 件	39 台	85 件
緑 区	26 台	57 件	22 台	51 件
美 浜 区	56 台	155 件	51 台	133 件
合 計	187 台	516 件	189 台	484 件

(2) 心配ごと相談所の運営

① 相談業務の実施

市民の生活上のさまざまな悩み事相談に、経験豊かな相談員が面談、電話で応じて問題解決を図るとともに、相談者の悩みの解消に努めました。

また、法律問題を伴う相談に応じるため、弁護士による法律相談を行いました。

開所日数	253日 (開所時間:月～金曜日(祝日・年末年始を除く)10:00～15:00) 【常設相談 244日、法律相談 9日】		
相談員	民生委員・児童委員、有識者 計14人		
取扱件数	854件 【常設相談 815件、法律相談 39件】		
	相談内容	平成25年度	平成24年度
	家族	179件	237件
	生計	48件	84件
	財産	86件	179件
	離婚	34件	69件
	住宅	38件	42件
	苦情	61件	23件
	医療	32件	47件
	精神保健	135件	170件
	職業・生業	30件	49件
	老人福祉	21件	72件
	健康・衛生	15件	33件
	結婚	4件	10件
	教育・青少年	15件	47件
	心身障害者(児)福祉	9件	100件
	年金	9件	13件
	事故	11件	15件
	人権・法律	43件	54件
	母子福祉・父子福祉	2件	13件
	児童福祉・母子保健	2件	11件
	その他	80件	158件
	合計	854件	1,426件
相談利用者数	588人 (男:127人/女:461人) 【常設相談:549人、法律相談:39人】		
相談内容処理状況	取扱件数854件に対し、解決583件、再来54件、民生委員紹介1件、他機関紹介208件、その他8件		

② 相談員の研修の実施

相談員が、変化する社会情勢に対応した適切な助言ができるよう、相談員の資質と相談技術の向上のための研修を実施しました。

回数	開催日/会場	参加者数	研修内容	講師
第1回	平成25年7月10日(水) 千葉県ハーモニープラザ	14人	高齢者介護と認知症について	千葉県保健福祉局高齢障害部 ・介護保険課職員 ・高齢福祉課職員
第2回	平成25年12月12日(木) 千葉県ハーモニープラザ	14人	消費者トラブルについて	千葉県消費生活センター消費生活相談員
第3回	平成26年3月12日(水) 千葉県ハーモニープラザ	14人	障害者相談センターとハーモニー相談室について	千葉県保健福祉局高齢障害部 ・障害者相談センター職員 ・千葉県男女共同参画センターハーモニー相談室相談員

7 子育て支援

子育て家庭への支援として、千葉市の放課後児童健全育成事業と延長保育等事業を受託し、子どもルームの運営と保育サービスを実施しました。

また、自主事業として、交通遺児、在宅重度心身障害児へ慰問金等を支給しました。

(1) 放課後児童健全育成

① 放課後児童健全育成事業

就労等により昼間家庭にいない保護者の小学校低学年児童に対して、授業終了後の遊びと生活の場を提供し、児童の健全な育成を図るとともに、保護者の子育てを支援する事業を千葉市から受託し、実施しました。

平成 25 年度に真砂第一小学校子どもルームと真砂第四小学校子どもルームが統合し、白旗エリア子どもルームが新規開設され、同年度末のルーム数は 108 小学校区、123 か所となっています。

ア ルーム数及び利用児童数

区名	平成 25 年度末		平成 24 年度末	
	ルームか所数	利用児童数	ルームか所数	利用児童数
中央区	23 か所	1,200 人	22 か所	1,096 人
花見川区	23 か所	1,061 人	23 か所	1,041 人
稲毛区	20 か所	1,061 人	20 か所	968 人
若葉区	18 か所	713 人	18 か所	678 人
緑区	18 か所	965 人	18 か所	897 人
美浜区	21 か所	1,258 人	22 か所	1,209 人
合計	123 か所	6,258 人	123 か所	5,889 人

イ 利用日・利用時間

区分	基本時間
通常授業日 (月曜日～金曜日)	午後 1 時 00 分～午後 6 時 00 分
土曜日	午前 8 時 30 分～午後 4 時 30 分
短縮授業日	午前 11 時 30 分～午後 6 時 00 分
学校行事等振替休業日	午前 8 時 00 分～午後 6 時 00 分
春・夏・秋・冬休み期間 (月曜日～金曜日)	午前 8 時 00 分～午後 6 時 00 分

※延長時間 午後 6 時 00 分～午後 7 時 00 分 (平日のみ)

(2) 延長保育

① 延長保育等事業

児童福祉の増進を図るとともに保護者の子育てを支援するため、市立保育所のうち、市が指定する保育所の通常保育時間帯及び延長保育時間帯における保育業務の一部を受託し、実施しました。

ア 受託保育所数・従事者数

区名	平成 25 年度		平成 24 年度	
	保育所数	従事者数	保育所数	従事者数
中央区	11 保育所	18 人	11 保育所	19 人
花見川区	8 保育所	12 人	9 保育所	16 人
稲毛区	6 保育所	8 人	6 保育所	8 人
若葉区	9 保育所	12 人	9 保育所	12 人
緑区	2 保育所	2 人	2 保育所	2 人
美浜区	6 保育所	7 人	6 保育所	10 人
合計	42 保育所	59 人	43 保育所	67 人

イ 保育利用者数

区分	平成 25 年度	平成 24 年度
市立保育所の入所児童数	7,368 人	7,346 人
延長保育利用児童数	2,234 人	2,382 人

(3) 交通遺児援護

① 交通遺児援護事業

小・中学校在学の交通遺児 18 人（13 世帯）に対して歳末慰問金 5,000 円を、また小・中学校入学の交通遺児 2 人（2 世帯）に対して入学祝金 10,000 円にお祝いのことばを添え、担当民生委員・児童委員を通じて支給しました。

(4) 心身障害児福祉の推進

① 心身障害児福祉事業

小学 1 年生から中学 3 年生までの重度心身障害児 440 人に対して歳末慰問金 4,000 円に激励文を添え、担当民生委員・児童委員を通じて支給しました。

8 生活安定のための支援

千葉県社会福祉協議会、担当民生委員と連携し、生活の安定や自立更生に向けた支援を行いました。

また、生活保護に至る前の生活困窮者及び経済的・社会的自立が見込まれる生活保護受給者に対する支援として、生活困窮者自立促進支援モデル事業を受託し、生活困窮者の自立に向けた支援を行いました。

(1) 生活福祉資金貸付

① 経済的な自立更生の支援

事業の実施主体である千葉県社会福祉協議会との緊密な連携のもと、貸付金を必要とする市民へ速やかに融資するとともに、必要な更生相談を行いました。

他からの融資を受けることが困難な低所得者世帯や障害者世帯、高齢者世帯、失業者世帯等の自立更生と在宅福祉の促進を目的として、資金の貸付けの受付を行い、千葉県社会福祉協議会へ送付しました。

ア 貸付金の種別

資金の名称		申請件数	貸付件数	貸付金額
総合支援資金		82件	79件	34,332,538円
福祉資金	福祉費	16件	15件	9,141,800円
	緊急小口資金	121件	114件	10,194,500円
教育支援資金		65件	64件	65,517,780円
不動産担保型生活資金		1件	1件	10,171,000円
要保護世帯向け不動産担保型生活資金		4件	3件	19,691,000円
臨時特例つなぎ資金		9件	9件	900,000円
合計	平成25年度	298件	285件	149,948,618円
	平成24年度	440件	426件	207,560,954円

イ 各区事務所貸付取扱状況（貸付件数）

区名	総合支援資金	福祉資金		教育支援資金	不動産担保型生活資金	要保護世帯向け不動産担保型生活資金	臨時特例つなぎ資金	合計
		福祉費	緊急小口資金					
中央区	23件	2件	28件	2件	0件	1件	3件	59件
花見川区	11件	3件	27件	12件	0件	0件	1件	54件
稲毛区	6件	1件	17件	2件	1件	2件	1件	30件
若葉区	5件	3件	7件	8件	0件	0件	0件	23件
緑区	5件	1件	13件	13件	0件	0件	0件	32件
美浜区	29件	5件	22件	27件	0件	0件	4件	87件
合計	平成25年度	79件	114件	64件	1件	3件	9件	285件
	平成24年度	180件	151件	49件	0件	3件	22件	426件

(2) 千葉市生活困窮者自立促進支援モデル事業

平成25年12月より、生活保護に至る前の生活困窮者及び経済的・社会的自立が見込まれる生活保護受給者の相談を受け、抱えているニーズを把握するとともに、ニーズに応じた支援が計画的かつ継続的に行われるよう、以下の事業を行いました。

① 自立相談支援事業

生活困窮者の様々な状況とその問題点を把握・評価・分析し、自立に向けた効果的な支援が行われるように支援計画を策定し、支援を行いました。

② 就労準備支援事業

生活困窮者が抱える問題に応じた、段階的な就労支援プログラムを作成し、生活習慣の形成・回復・社会的自立の支援、実際の就労に向けた能力開発を、各種講座や作業訓練などを通じて行い、就労に必要な基礎能力の習得を支援しました。

③ 家計相談支援事業

生活困窮者の家計再建を支援するため、家計支援計画を策定し、収支の改善や家計管理能力の向上を図り、必要に応じて社会保障制度や各種給付・減免の窓口を紹介し、家計支援を図りました。

区分		平成 25 年度
自立相談支援事業	相談件数	89 件
	相談者数	53 人
	支援調整会議開催	2 回
	支援計画策定件数	3 件
就労準備支援事業		1 件
家計相談支援事業		2 件

9 福祉施設や団体との連携・支援

社会福祉法人等に対する施設整備費用の貸付や、民間社会福祉施設や社会福祉団体に対し運営費等を助成することにより、社会福祉の増進を図りました。また、小地域福祉活動の活性化のため、施設や団体との連携の強化を図りました。

(1) 施設団体等助成

① 施設団体等助成事業

民間社会福祉団体の適正な運営と民間社会福祉施設の事業が適切に実施されるよう、運営等に要する経費を助成しました。

	平成 25 年度		平成 24 年度	
	助成件数	助成金額	助成件数	助成金額
民間保育園	19 施設	760,000 円	23 施設	860,885 円
社会福祉団体等	13 団体	1,290,000 円	13 団体	1,330,000 円

② 福祉施設・団体の歳末行事等への助成事業

福祉施設・団体の歳末行事等の開催に要する経費の一部を助成しました。

	平成 25 年度		平成 24 年度	
	配分件数	配分金額	配分件数	配分金額
福祉施設	4 施設	101,500 円	3 施設	52,500 円
福祉団体	6 団体	305,500 円	5 団体	293,000 円
小規模作業所等	35 か所	322,000 円	42 か所	308,000 円
合 計		729,000 円		653,500 円

(2) 社会福祉事業振興資金貸付

① 社会福祉事業振興資金貸付事業

制度利用の促進を図るため高齢者施設、障害者施設、児童施設の設置法人（59 法人）へ貸付条件等に対するアンケート及び事業概要の PR を実施するとともに、1 件の貸付けを行いました。

ア 貸付限度額 800 万円

イ 貸付利率 年利 3%

ウ 償還期間 200 万円までが 5 年以内、40 万円増す毎に 1 年を加えた期間

	平成 25 年度		平成 24 年度	
	融資件数	融資金額	融資件数	融資金額
保育園	1 施設	4,400,000 円	—	—

(3) 各種団体・関係機関との連携・強化

① 各種団体・関係機関との連携・協働<再掲>

各区事務所において、あんしんケアセンター等と地域福祉の推進について連携・協働するとともに、区地域福祉計画推進協議会と協力し、区地域福祉計画の推進に努めました。また、フードバンク活動を行っている団体と連携し、生活困窮者への支援を実施しました。

<食品配送申請件数>

	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計
平成 25 年度	62 件	66 件	24 件	38 件	7 件	22 件	219 件
平成 24 年度	44 件	13 件	5 件	17 件	1 件	2 件	82 件

10 人材育成のための研修の充実

千葉市より平成23年度から平成27年度まで5年間の指定管理を受け、千葉市社会福祉研修センターの管理運営を行い、福祉を担う人材の育成と資質の向上を図るため、社会福祉事業に従事する社会福祉施設職員、行政職員等を対象に幅広い研修を、計画的・体系的に実施するとともに、市民を対象とした社会福祉セミナーを実施し、その他、受託事業による研修を含め、延べ3,227人の方が研修を受講しました。

(1) 指定管理の研修・指定管理以外の研修

研修区分		研修名	平成25年度		平成24年度		
			課程数	受講者数	課程数	受講者数	
指定管理	社会福祉施設職員研修	新任職員	1	106人	1	61人	
		中堅職員	1	139人	1	110人	
		指導監督職員	1	57人	1	72人	
		専門課題	看護職員研修	1	32人	1	70人
			栄養士等給食担当職員研修	1	14人	1	20人
			カウンセリング研修	1	43人	1	42人
			救急法(救急員養成)研修Ⅰ	1	20人	1	24人
			救急法(救急員養成)研修Ⅱ	1	22人	1	15人
			財務担当職員研修	1	18人	1	36人
			人事・労務担当職員研修	1	36人	1	34人
			介護技術向上研修	1	31人	1	32人
	社会福祉法人研修	トップセミナー	1	16人	1	33人	
		施設長研修	1	11人	1	41人	
	介護専門職員研修	訪問介護事業所従事者	訪問介護員(ホームヘルパー)現任研修Ⅰ	1	17人	1	28人
			訪問介護員(ホームヘルパー)現任研修Ⅱ	1	9人	1	14人
			介護指導者養成研修	1	16人	1	11人
			介護指導者養成研修(研究編)	1	0人	1	1人
			訪問介護員フォローアップ研修	9	117人	10	160人
			サービス提供責任者現任研修	1	13人	1	17人
		居宅介護支援事業所従事者	認知症スキル向上研修	1	16人	1	48人
			ケアマネジャー現任研修	1	153人	1	70人
	行政職員研修	新任職員	福祉担当新任職員研修	1	66人	1	46人
			生活保護関係職員新任地区担当員研修	1	44人	1	50人
		中堅職員	福祉担当職員研修	1	28人	1	29人
			生活保護関係職員地区担当員研修Ⅰ	1	38人	1	31人
			生活保護関係職員地区担当員研修Ⅱ	1	21人	1	28人
			生活保護関係職員生活保護査察指導員等研修	1	25人	1	10人
市民対象	社会福祉セミナー	34	1,431人	33	1,495人		
小計			69	2,539人	69	2,628人	
指定管理以外	認知症介護専門職員	認知症介護実践者研修Ⅰ	1	47人	1	51人	
		認知症介護実践者研修Ⅱ	1	36人	1	35人	
		認知症介護実践者研修Ⅲ	1	33人	1	42人	
		認知症介護実践者研修Ⅳ	1	39人	1	47人	
		認知症介護実践リーダー研修	1	11人	1	17人	
	地域福祉従事者	主任児童委員研修(児童虐待対応研修含む)	1	130人	1	117人	
		新任民生委員研修	1	335人	-	-人	
	その他関係機関連携研修会等		2	57人	2	60人	
小計			9	688人	8	369人	
合計			78	3,227人	77	2,997人	

(2) 社会福祉士養成課程援助実習の実習生の受入れ

社会福祉士養成課程における相談援助実習プログラムの充実を図り実習生を受入れ、各部署において社会福祉士として必要な知識及び援助技術を取得するための実習指導を行いました。併せて、社会福祉士の資格を有する職員に社会福祉士実習指導者講習会を受講させ、実習生の受入数を増やせる体制づくりを進めました。

	平成 25 年度	平成 24 年度
実習生受入人数	6 人	5 人

1 1 広報活動の充実

市民の視点、ニーズに応じた広報内容を充実させるとともに、情報を速やかに発信しました。

様々な年齢層の市民に対して、本会とその活動についての理解を図っていくために、マスコットキャラクター等を用いて、市内で開催されるイベントに参加するなど、PR活動を積極的に行いました。

(1) 社協のPR活動

① 社協だよりの発行<再掲>

社協活動の広報紙として、社協だよりを年4回、各3万2千部発行し、各町内自治会での回覧や公共施設などに配架し、多くの市民へ情報を提供しました。

平成25年度			平成24年度		
巻数	発行日	発行部数	巻数	発行日	発行部数
第82号	平成25年 6月19日	各32,000部	第78号	平成24年 6月20日	各32,000部
第83号	平成25年 9月18日		第79号	平成24年 9月19日	
第84号	平成25年12月 4日		第80号	平成24年12月 5日	
第85号	平成26年 3月19日		第81号	平成25年 3月20日	

② ホームページの充実<再掲>

ホームページで、本会や地区部会、各種ボランティア団体等の活動状況を掲載するとともに、地域で必要とする福祉情報を発信しました。

<アクセス数>

	平成25年度	平成24年度
本会トップページ	15,203件	17,403件
ボランティアセンターホームページ	14,678件	15,942件
成年後見支援センターホームページ	3,745件	8,256件
社会福祉研修センターホームページ	4,309件	4,163件

③ マスコットキャラクターを用いたPR活動

マスコットキャラクター「ハーティちゃん」の着ぐるみを区民まつりなどの地域のイベント、各種募金活動、施設・団体等のイベントに活用し、本会を身近に感じていただけるよう積極的にPR活動を行いました。

④ 各種イベントでのPR活動

各区単位で開催された区民まつりや、地区部会が主催するイベント等に積極的に参加し、市民へ本会や地区部会活動への理解促進に努めました。

⑤ 出前講座の実施

市民や団体等からの依頼により、本会の職員が地域に出向き、本会の活動内容などを説明し、理解促進に努めました。

12 体制の充実・強化

本会の会員については、地域福祉活動推進のため住民会員の拡大に努めるとともに、施設や企業などの会員加入についても働きかけを行いました。

赤い羽根共同募金は、自主財源確保のために市町村歳末たすけあい募金（戸別募金）をはじめとして、積極的に取り組みました。

区事務所にコミュニティソーシャルワーカーとしての専門的知識を有する人材を配置し、課題解決のための活動を総合的に支援する「企画提案・調整型社協」をめざし、体制の強化に努めました。

(1) 会員の拡大

① 住民会員の拡大

市民に社協活動や会員制度への理解を求め、本会の会員として継続的に地域福祉活動に参加してもらえるよう、地区部会や町内自治会の協力を得て会員の拡大に努めました。

② 特別会員・賛助会員の拡大

千葉市老人福祉施設協議会への訪問依頼等により、特別会員・賛助会員の拡大に努めました。

③ 会員制度の見直し

会員募集のチラシを作成し、地区部会等に配布しました。また、「会費の手引き」を用いて、会員制度のしくみや意義の理解促進に努めました。

<会員の状況>

区 分		住民会員 (1口200円)	特別会員 (1口3,000円)	賛助会員 (1口10,000円)	会費収納額
地区部会	中央区	44,454口	398口	95口	11,034,800円
	花見川区	36,103口	66口	71口	8,128,444円
	稲毛区	32,281口	126口	35口	7,184,160円
	若葉区	24,551口	20口	12口	5,090,120円
	緑区	22,929口	14口	2口	4,647,750円
	美浜区	27,926口	52口	29口	6,031,020円
地区民児協	花見川区	652口	0口	0口	130,300円
	若葉区	50口	0口	0口	10,000円
本会取扱分		0口	48口	17口	314,000円
合計	平成25年度	188,946口	724口	261口	42,570,594円
	平成24年度	188,133口	816口	228口	42,354,776円

(2) 自主財源の確保

① 収益事業の検討・実施

財政基盤を強化するため、マスコットキャラクターを付した商品の販売に係る調査・検討を行い、1種類の商品を作製しました。

② 赤い羽根共同募金の増額

新たな協力者（寄付者を含む）の拡大を図る中で、法人への訪問を強化するために共同募金の現状、しくみ、使い途等を記載した資料を作成し説明を行い、増額につなげました。

③ 有料広告の利用促進

社協だよりやホームページに、広告掲載を希望する企業等を募集し、新たに1件の広告掲載を獲得しました。

（3）組織体制の充実・強化

① 区事務所の機能充実

地域の特性やニーズ等を踏まえ、各区事務所にコミュニティソーシャルワーカーを配置し、地域福祉活動のコーディネートをよりきめ細かく活発に行いました。

② 職員の資質向上

各区事務所のコーディネート機能を高めるために、各区事務所に配置したコミュニティソーシャルワーカーを中心に職員を各種研修へ積極的に参加させ、コーディネート技術、企画提案能力の向上を図りました。また、2名の職員が社会福祉士の資格を取得しました。

13 東日本大震災への対応

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により被災した地域や被災者へ復旧・復興支援を行いました。

(1) ボランティアバスの運行による支援活動

① ボランティアバスの運行

東日本大震災の支援活動を風化させない気運を醸成するため、平成 25 年 11 月 1 日から 4 日までの間、ボランティアバスを 2 回運行し、宮城県南三陸町において 59 人のボランティアの協力により、瓦礫の撤去等の活動を実施しました。

(2) 義援金、寄附金の受付等

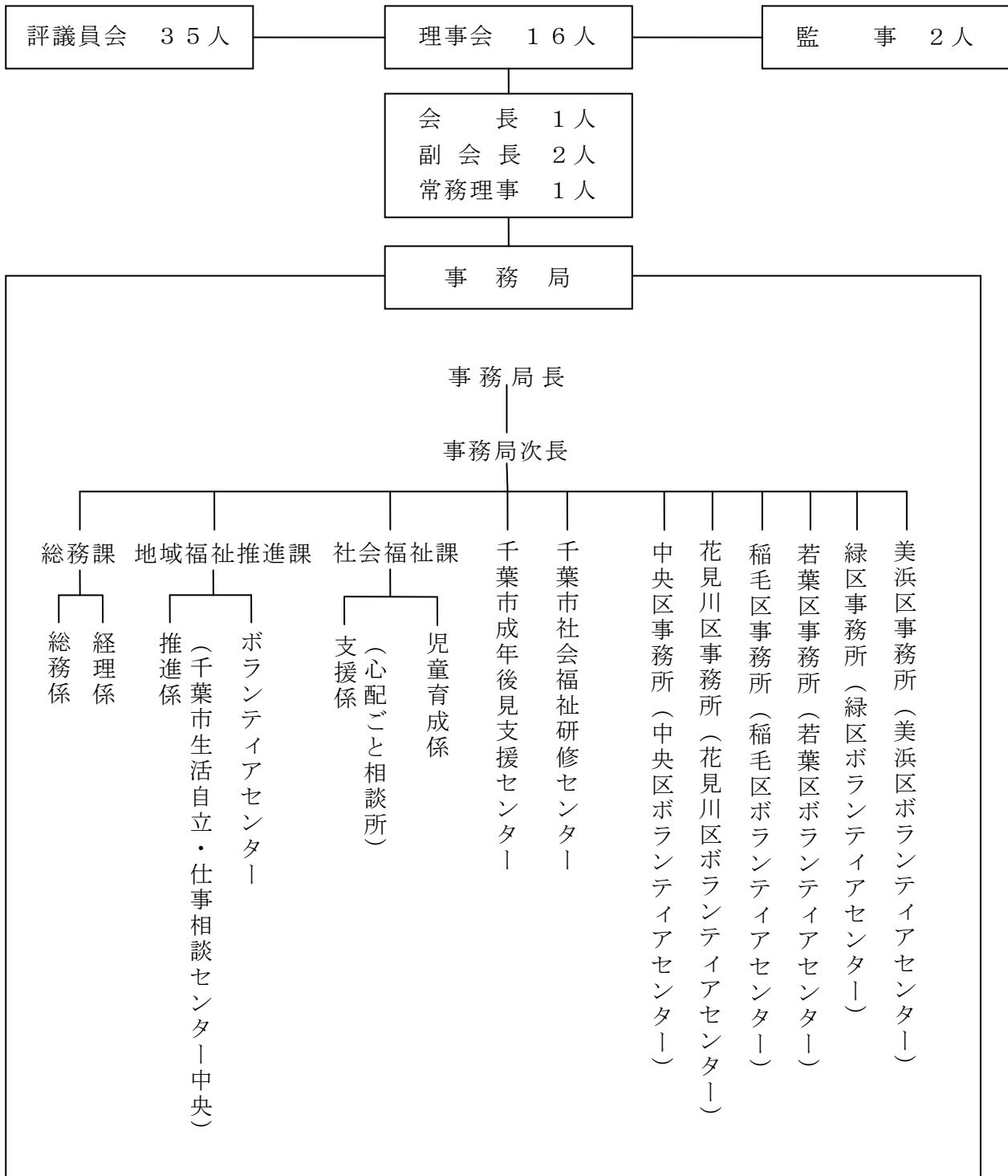
① 東日本大震災義援金

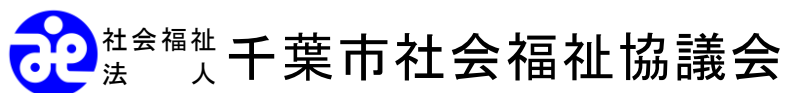
義援金の受付を行い、共同募金会、日本赤十字社へ送金しました。

関連資料

【組織図】

平成 26 年 3 月 31 日現在





〒260-0844 千葉市中央区千葉寺町1208-2

千葉市ハーモニープラザC棟3階

電話 043(209)8884

FAX 043(312)2442